

## 令和2年度 国際教育学科 一般推薦試験講評

### ■設問 I

#### 〈出題意図〉

設問 I の題材は近年 21 世紀型スキルとして注目されている social emotional learning (SEL) について書かれた New York Times のコラムである。筆者は、SEL の長期的効果を様々なエビデンスをもとにまとめ、投資効率についても言及している。そして、従来型のテストで測れる学力重視の教育だけではなく、ソーシャルスキルやセルフマネージメントスキルが将来を生きる子ども達のために重要であるとまとめている。受験生には、教科書や問題集を学習するだけではなく、非認知能力の重要性について考察する機会や批判的思考力を身につけてほしいと願い、この文章を出題した。

#### 〈評価のポイント〉

##### 問 1

英語の長文を、内容を理解しながら最後まで読むことが出来ているかどうかをみた。

##### 問 2

筆者の意図を正確に読み取ることができるかどうか、また文脈から適切な英語を推測できるかどうかを見る問題である。与えられた時間の中で、求められた情報をすばやく探すことが出来るかをみた。

##### 問 3

本文の内容を読み取り、日本語で誤字脱字なく、簡潔に筋道立ててまとめる力があるかどうかについてみた。

##### 問 4

自分の考えについて根拠を挙げながら、まとまりのある英文で自分の意見を述べる事が出来るかどうかをみた。また、合わせて、文法力、語彙力、スペリング、などの英語の知識についてもみた。

#### 〈採点講評〉

問 1 正解は、(d)。

ちなみに、(d)以外の選択肢については:

- (a) for short time periods, but not for long term. の部分が誤り。
- (b) 幼い子どもにとってだけ重要なスキルであるとする記述が誤り。
- (c) but not recently の部分が誤り。逆に近年 SEL の実践は増えている。
- (d) 正解
- (e) 従来のテストで測れる能力だけでなく非認知的能力の重要性を議論しているのが誤り。
- (f) 実際には教育的投資の効果が大きいので誤り。

## 問2

従来の試験の点数だけでは測れない子どもの非認知能力が重要だとする筆者の主張を正確に読み取った上で、適切な英単語を探し正しく回答することが出来ていた。しかし本文中の文脈が全く異なる箇所から英単語を選んだ回答も見られた。

## 問3

21世紀型スキルや非認知的能力についての重要性を読み取ることが出来ていた回答も見られた一方で、“social and emotional learning”や“social competence”などあまり馴染みのない概念や用語であったのか、誤った解釈をもとに議論を進めていた回答も見られた。

## 問4

出題の意図通り、従来のテストで測れる能力や成功だけでなく広い視点で非認知的能力育成の意義を簡潔にまとめた回答も見られた一方で、英語の文法上のミスにより内容が理解できない文章も少なからず見られた。

## ■設問II

### 〈出題意図〉

19世紀初頭に開発されたランカスター法と呼ばれる教育方法について紹介する簡単な説明文と図面から、その教育方法の実践の様子をイメージし、その強みと欠点を分析する力を問うた。ランカスター法に関する予備知識の有無は問わず、与えられた情報の中から、①その教育方法が多くの学校に広まった時代的背景、②その教育方法で授業をしていた教師の視点、および③その教育方法で授業を受けていた当時の子どもたちの様子や気持ちを、ある程度歴史を考慮しながら豊かにイメージすることができるかどうか、ポイントになる。これらの事柄に関するイメージをもと

に、ランカスター法の強みと欠点の双方を自分なりに英語で表現できているかどうかをみた。

#### 〈評価のポイント〉

問題文にある3つの観点（①この教育方法が当時多くの学校に広まった理由と、現在は使用されていない理由について、②この教育方法および教室のデザインの強みについて、③この教育方法および教室のデザインの欠点について）それぞれの考察を、与えられた資料をもとに適切な英語で記せるかどうかをみた。

#### 〈採点講評〉

与えられた資料から、一人の教師が数百人規模の子ども集団を教えることが想定されていたこと、そのため教師が全ての子どもを見渡せるように教師が最も低い位置に立つ形で教室が傾斜する設計になっていたことなどを読み取り、この教育方法の強みと欠点を説得的に記した回答が見られた。一方で、19世紀初頭には現代に比べて子どもの数が遥かに多く、広い教室を建設できる広大な土地があったからこの教育方法が広まったのではないか、など、歴史に関する知識不足による説得性の低い分析も見られた。また、英語の文法上のミスにより内容が理解できない文章も少なからず見られた。